

Zapraszamy zarówno doświadczonych kaligrafów, jak i osoby stawiające w kaligrafii pierwsze kroki do wzięcia udziału w Ogólnopolskim Konkursie Kaligrafii, którego rozstrzygnięcie będzie miało miejsce podczas Matsuri - Pikniku z Kulturą Japonii

7. czerwca br.

Termin nadsyłania prac: 1-24.05.2014

Szczegóły konkursu: http://wsjj.pl/pl/menu/konkurs-kaligrafia

> /4友Japan • Exchange Year 2014



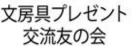
Organizatorzy:

Ambasada Japonii w Polsce















企画名	ポーランド書道	コンクール	
企画名(ポ語)	Ogólnopolski Konkurs Kaligrafii		
企画名(英語)	Poland Callign	raphy Contest	
共催	在ポーランド日	]本国大使館	
	ポーランド日本語教師会		
	ワルシャワ日本語学校		
協賛	文房具プレゼン	<b>ノト交流友の会</b>	
	ワルシャワ大学付属日本語日本文化講座		
	ポーランド・ペ	ぺんてる	
マスコット	नि ।, 🧸 वन		
キャラクター			
(ふでぽん)			
応募期間	2014年5月1日(月)~5月20日(金)		
展示会	2014年6月7日(土) 日本祭り		
	_	日(木)-6月30日(月)	
<b>+=</b> 00	日本国大使館広報文化センター		
部門	初級者の部   書道経験一年未満、または書道教		
	室への参加が 10 回以下		
	中上級者の部 書道経験一年以上、または書道教		
<b>一</b>	室への参加が 10 回以上		
審査基準	1、作品のバランス ウト田纸トのボニンス		
	(字自体のバランス、字と用紙とのバランス)		
	2、基本線(起筆、送筆、収筆)   3、はね、払いの工夫		
	4、転画の工夫		
	4、転画の工夫   5、太さ、細さの工夫		
	6、独自性		
	0、江日江		



# 文房具プレゼント交流友の会 会長 望月晃

第一回ポーランド書道展の大成功おめでとうございます!

坂本先生から在ポーランド日本国大使館共催である本大会に、日本の私にもお声をかけて頂き 授賞式に臨席させて頂きました。

これからの書道大会の伝統として、また応募くださる方々の励みになればと、金、銀、銅の盾を用意させて頂きました。

最優秀の方には掛け軸の贈呈でした。富士山が世界遺産に登録された事もあり、私の俳句 「雲海に 命輝く 山開き」に著名な俳画家の応援で完成した掛け軸を大変喜んで頂いた事は大 変に光栄なことでした。

結びにポーランドで日本語を教えておられる先生方の見事なチームワークで日・ポの平和文化の華が咲き競う事を心から祈念いたします。

ジィェンクゥィエ!

# 上級の部 優勝者 マチェイ・ヴァシェレフスキ



書道に興味があって、数年間書道を練習していますが、上手だとは全然思っていません。4年前から、ポズナニのUAM大学の生島真穂先生が毎月シチェチンに来て、KOTOBAという学校で教えてくださり、今回この書道コンクールに参加することにしました。

コンクールのため「天地」という漢字を選びました。形も意味も気に入ったからです。

私の書いた字を展覧会で見て、とてもうれしかったです。その上たくさんの賞品をもいただき、幸せだと思います。かけじくも珍しいものできれいですし、書道のセットもこれから大変役に立ちます。その他の賞品もありがとうございます。

これからも練習を続けて、もっときれいに書けるようになりたいと思います。

どうもありがとうございました。



# ワルシャワ大学書道部 講師 田村彩乃

昨年の10月よりワルシャワ大学の学生たちに週に1度、1回2時間書道を指導してきました。 部活動に来ていた学生たちは「興味があったけどやる機会がなかった」という学生たちが多く、 この1年間は彼らにとって書道に触れる良い機会になったと思います。私自身も指導者としてこ のような機会をいただけて大変嬉しく思います。

ほとんどが初心者でしたので、筆の持ち方や基本の書き方などを一から教え、練習していき、回を重ねるごとに確実に上達していくのが見て取れました。家でも練習する学生や書き方の質問をしに来る学生などの意欲的に参加する姿は指導者としてとても嬉しかったです。

私はもうすぐ日本へ帰国してしまいますが、「楽しかったからこれからも続けていきたい」と言う学生、「参加したかったけど授業と重なっていて行けなかった」と残念がっていた学生が何人もいましたので、今後も学生たちをはじめ、日本に興味のある人たちのために書道に限らず日本文化に触れる機会を作っていってほしいとこの経験を通して強く思いました。

ポーランドで過ごした、この一年間は本当に自分にとって充実した時間でした。つまり、その時その時の「瞬間」がとても価値のある、大切なものとなりました。そして、ワルシャワ大学の学生の1年間書道を教えることができ光栄に思います。ありがとうございました。

#### 審査員長からの講評

#### 杉浦綾

全体を通してそのレベルの高さと、熱心さに大変感動しました。ポーランドでここまで書道が 普及しているものとは知らず、多くの作品から入賞作品を選ぶことは困難を極めました。

上級1位の「天地」は「天」がとてもよく、思い切りの良さが伝わってきます。また空白をうまく利用した作品でした。入筆や撥ねをより力強く書くとさらによくなるでしょう。2位の「錦鯉」は大変バランスが整った作品でした。字の大きさも申し分ありません。独自性にも富んでいました。入筆をもっと丁寧に描くとさらにいいでしょう。3位の「幸福」は中心が整っており、軸がとてもしっかりしています。また転角がよくできています。とめを充実させるとさらによくなるでしょう。

初級1位の「花」は草冠がとても上手で、終わりの曲り方にも気を遣えています。「イ」のとめをよりしっかり書けるといいでしょう。2位の「幽玄」は「幽」の均整がとれており、内部の筆遣いもよくできています。もっと大きく伸び伸びと書けるとさらにいいでしょう。3位の「自由」は最初のはらいが充実しており、「由」の字も形にも注意して書けています。今後は入筆後の筆の送り方に注意しましょう。

来年もより多くの作品が提出され、今後もレベルの高い大会となることを期待しております。

### 入賞者/作品

### 中上級の部 (応募者 26 名)

順位	1	2	3
名前	Maciej Wasielewski	Robert Wołynski	Bartorsz Rajewski
所属	Kotoba(Szczecin)	Engakuin 円覚院	Engakuin 円覚院
		(Poznań)	(Poznań)
作品	大地	錦鄉	中河

### 初級の部 (応募者 43 名)

順位	1	2	3
名前	Alicja Pezowicz	Julia Nicole Caba	Marta Zamek-Gliszczyńska
所属	UAM ポズナニ大学	UW ワルシャワ大学	UAM ポズナニ大学
作品	さる	退到	自由

#### 表彰式





#### 見学者の感想

ポーランド人の皆さんが、書道に関心を持ち立派な作品でコンクールに応募されているのを見て、大変感激しました。

書に美を感じる気持ちは、漢字圏の人だけではないと改めて実感しました。

ポーランドで書道愛好家が増えていくように、今後もぜひこのコンクールを続けていただけるよう、関係者の皆さまに心よりお願いいたします。







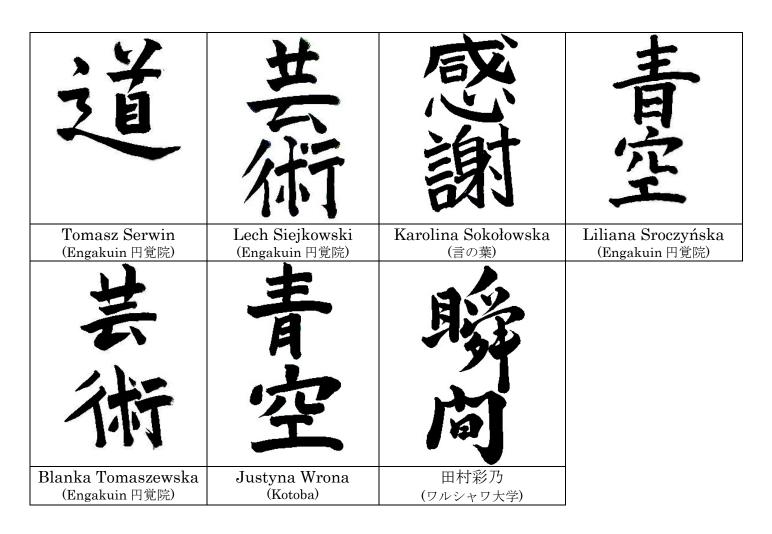
#### 展示会



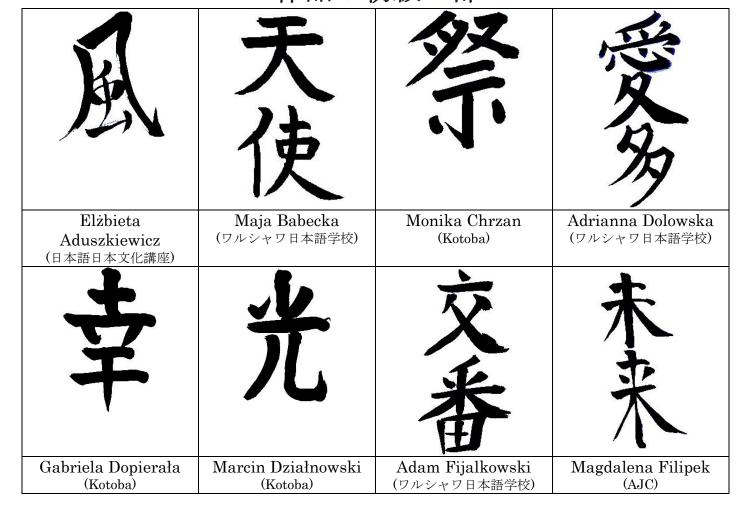


作品:中上級の部

	1 - 44 - 1	エルンペンロト	
祭	天地	なる	学
Justyna Basałyga	Mateusz Borowski	Jakub Bujko	Waldemar Burzych
(Engakuin 円覚院)	(kotoba)	(ヤギェロン大学)	(Engakuin 円覚院)
道	感謝	為首	靈氣
Anna Drozdowska	Małgorzata	Katarzyna	Bartiomiej Jadlowski
(Kotoba)	Gałężewska (言の葉)	Garwolińska (日本語日本文化講座)	(ヤギェロン大学)
类臣	道	道	創造
Miroslav Hybl	Dorota Jastrzębska	Michał Jastrzębski	Grzegorz Jastrzębski
(Engakuin 円覚院)  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A	(Engakuin 円覚院)	(Engakuin 円覚院)	(言の葉)
Elzbieta Korona (ワルシャワ大学)	Piotr Kryk (Kotoba)	Karolina Maciaszczyk (Engakuin 円覚院)	Małgorzata Paluszyńska (紫)



作品:初級の部



安	未	主	惠
Balbina Gąska	Natalia Gędłek	Katarzyna Goździak	Juliusz Horbaczewski
(ワルシャワ日本語学校)	(AJC)	(Kotoba)	(ワルシャワ日本語学校)
Cezary Horbaczewski (ワルシャワ日本語学校)	ELŻBIETA IMIEŁO (AJC)	イタ Aleksandra Jedut (ワルシャワ日本語学校)	Agata Kiełbasińska (ACJ)
相分	夜	死	幸
1家	不女	不申	福
Monika Kanigowska (ワルシャワ日本語学校)	Olga Kirylowicz (ワルシャワ大学)	Zuzanna Klonowska (ワルシャワ日本語学校)	Agnieszka Kruk (ワルシャワ日本語学校)
Michał Kurcius (ワルシャワ日本語学校)	<b>Eliza Machowska</b> (ワルシャワ日本語学校)	Martyna Małek (Kotoba)	Aleksandra Szalast (ワルシャワ日本語学校)

大大大なリナ	真夜	光	連翹
Karolina Mirek (ACJ)	Maja Mitkowska (ワルシャワ日本語学校)	Aleksandra Niemiec (AJC)	Paula Olesik (ワルシャワ大学)
緑風	時	人	少年
Adrianna Pietruczuk (ワルシャワ大学)	Marysia Praska (ワルシャワ日本語学校)	Olga Przybyła (AJC)	Piotr Rzepecki (日本語日本文化講座)
Jt.	辛	中古	光
Areksandra Sałaczyńska (ポズナニ大学)	Akeksandra Stramska (Kotoba)	Anna Sutkowska (ワルシャワ日本語学校)	Kacper Tumulec (Kotoba)
光	书	間出土	
Dominika Warzocha (トルン大学)	Agata Zapatka (ポズナニ大学)	Antonina Zemska (ワルシャワ日本語学校)	

## ポーランド書道コンクール 代表 坂本龍太朗



今回は第 1 回であるにも関わらず、大変多くの関係者、参加者に支えられ、書道コンクール/書道展を成功に導くことができました。今年は日本国外務省が提唱している、日本と中東欧 4 か国の友好と協力を推し進めることを目的とした V4 交流年であり、「第 1 回ポーランド書道コンクール」も本枠組みの中で行われました。そのため、書道を通した日本とポーランドの交流促進が書道コンクール/書道展の第一の目的です。

書道は主に自分自身と向き合うものですが、書道を通して人のつながりが生まれたことが今回何よりの収穫です。書道によって書家の先生方と学生たち、国内外の学生同士の絆ができました。それだけではなく、作品を見た来場者と参加者の間にも間接的に書を通したつながりが生まれます。生まれた絆はポーランド国内

のみならず、日本からは「文房具プレゼント交流友の会」様の協賛をいただけ、国の枠を 超えた広がりに発展しました。「文房具プレゼント交流友の会」様を初め、協賛していた だいた「ワルシャワ大学日本語日本文化講座」様、「ポーランド ぺんてる」様に改めて 感謝申し上げます。

今回の書道コンクール/書道展は「ポーランド日本語教師会」の書家の先生方が発案から 運営まで全体を通して尽力してくださいました。同時にポーランド日本語教師会書道部 「絆」も書道展をきっかけに誕生しました。今回生まれた様々な形での「絆」を今後両国 の友好関係発展の舵とし、より大きく強固な絆を作るため、今後も関係者の皆様と協力し 航行していきたく存じます。



書道を通した両国の絆作り